



地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

松本大学学報

sokyu
蒼穹

2013.6 Vol.111



特集 地域の中核大学(COC)をめざして

松本大学中期目標・計画策定 P.02

- 魅力ある地域づくりへの貢献をめざし、新たに連携協定締結 P.04-05
- **寄稿** 地域医療公開講座に根本准教授をお迎えして P.07
- 人事短信・就任あいさつ P.08
- 平成24年度 各種検定試験取得状況 P.10
- 平成24年度 卒業生の進路 P.12-13
- 平成24年度 決算報告 P.16-17

地域の中核大学(COC)をめざして 松本大学中期目標・計画策定

18歳人口の減少、大学数の増加や大学間格差の拡大。さらには社会のグローバル化が進むなか、政府や経済界からも「確かな学士力」と「社会人力」を兼ね備え、これからの社会を担っていく「創造性」豊かな学生を育てるよう、大学改革の必要性が叫ばれており、大学を取り巻く環境は大きな曲がり角にあります。

本学ではこうした情勢を踏まえ、教育・研究を通じて地方社会にとってなくてはならない大学をめざし、このたび今後5年間の中期目標・計画を策定しましたので、その概要をご紹介します。



松本大学 中期目標・計画策定にあたって

松本大学 学長 住吉 廣行

高等教育機関の現状を認識した上で、向こう5カ年を見越した大学経営の中期計画を立てることが求められるようになってきました。中教審答申が矢継ぎ早に出され、3つのポリシーをはじめ各種のデータ公表が義務付けられているので、この流れには必然性があります。

5カ年計画であるため、各年度始めに達成目標が設定されている(PDCAサイクルにおいて、各年度のPに対応)わけで、それに対してどこまで到達できたか(D)という

視点で各年度毎の評価(C)がなされ、次年度の計画が修正されて設定される(A)こととなります。従って各年次毎のPDCAサイクルが、中期計画を基本軸として回ることになるのです。

今回は2013年4月から2018年3月までの5年間の展望を明確にしようと、松本大学大学院健康科学研究科、総合経営学部、人間健康学部、松商短期大学部それぞれの、研究・教育・地域貢献に対する計画が、現状を分析しながら立てられています。加えて、全学に共通なエクステンション機構(教育部門・管理部門)の傘下にある各種委員会やセンターも、全学的視点から将来展望を考えています。

それらを統括する立場で、「ミッションと教育理念に基づく大学の将来像」「教職員の人事計画や委員会構成・規定整備」等の組織的な問題に対する課題、「学部・学科構成や施設整備を考える」等の将来計画に関する全学的課題が、当然ながら取り上げられています。

こうした中期計画・目標は、全学の執行機関である全学運営会議(構成メンバー:学長、研究科長、学部長、事務局長の計6名)が中心となって、それぞれが担当する部門に責任を持って策定し、全学の最高決定機関である全学協議会(構成メンバー:全学運営会議メンバー、各学科長6名、学生センター長の13名)の賛同を得て策定されました。特に全学的な課題については、学長が事務局長と相談しながら案を練り、全学運営会議で議論を重ねるという方向を採用しました。こうした会議メンバーが、できるだけ多くの教職員の意見を取り入れようと会議などでの意見集約を試みましたが、時間的な制約もあったため、更なる修正は次年度以降のPに反映するというので合意されています。

これが全構成員の共通認識となって、5カ年の計画が遂行されることを期待しています。

本学の将来像	研究・教育・地域貢献 学生募集など	大学運営と改善
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建学の精神発揮で「教育力ある大学へ」 ・ 学生の自主活動支援と「社会人力の育成」 ・ 教育重視の姿勢「教育を支える研究」 ・ 超少子高齢化社会で地域活性化への貢献 ・ 全構成員が充実のキャンパス・ライフ ・ COCの役割を担う地域の必需品大学へ 	<p>健康科学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究(水準向上、体制強化、成果) ・ 教育充実と地域貢献(成果の発信) <p>総合経営学部/人間健康学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育と研究の質向上及び充実 ・ 教学組織の改組改変(共通教養など) ・ 入試制度と広報戦略及び高大接続 ・ 学生支援(就活・健康・経済面など) ・ 社会貢献(地域の窓口強化、COC) <p>松商短期大学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育(国際化対応、進路支援、手法) ・ 連携強化(産学、高大、地域など) 	<p>組織的学大運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原則的かつ柔軟な運営 ・ 業務分担見直しと教職協働 <p>人材活用と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員育成と力量アップ ・ 評価制度導入 自己点検・評価 財務内容の改善 ・ 防災・ハラスメント対応

研究科播籃期に必要な 基盤工事いろいろ

大学院健康科学研究科 研究科長 三村 芳和

当研究科は3年目の春を迎えました。どうやって一人前に育てていくか、それは赤児の天分を含め、諸々の要因を鑑みつつ両親(研究科長と教員)が意思決定をしていくものです。中期目標・計画を踏まえつつ今後の<前段として>取り組むべきことを整理しました。

①研究科は出自も専門性も異なる教員の集団で一研究室一教授制、つまり講座制ではありません。活性化の観点から大学院生を増やし、彼らを教育するとともに研究活動の担い手として育てることにこそ研究科の繁栄があります。ですので入学の動機付けとなる研究領域の整備、ことに健康学を人文系をも含め包括的に捉える視点と仕組み作りとが課題です。さらに広報活動は欠かせません。

②教員が活動しやすいシステム作り、すなわち研究科専任教員は同時に学部も担当しているため教育・指導に注ぐエネルギー配分の整備が必要です。

③研究科の社会への還元を考えると、現在、社会人として活躍中の人たちが現場で抱える健康に関わる問題点に応える指導体制作りも課題です。また、健康をとり巻く要因について得心のいく定期的な公開講座の開催も計画しています。

そして、乳児のふる里がここ松本であることはすべての出発点です。



中期目標と総合経営学部

総合経営学部 学部長 木村 晴壽

今回の中期目標・計画は、財務運営・人事活用・社会貢献などを含め多岐にわたっています。大学全体としてはもとより、学部として目指すべき方向性をも示した、これまでにない巨視的な計画です。その全体にわたる記述は不可能であり、ここでは、これからの5年間、バックボーンとなる考え方を紹介します。

今回の中期目標・計画全体の背景をなすのは、本学を取り巻く情勢が、向こう5年間はもちろん、その先も極めて厳しいとの認識です。専門学校をはじめ県立大学の発足も予定されるなか、いずれも内容が総合経営学部とほぼ同じ分野に関するものであることが予想されます。その意味で、本学および本学部の長所を最大限に活かした学部運営が強く求められています。本学あるいは本学部ならではの教育・研究・社会貢献に真正面から向き合うべき時期であり、今後は、大学の一般論、経営系学部の一般論を想定するのではなく、本学および本学部の強みを意識した議論が必要となります。毎年、中期目標・計画自体を見直す作業が行われることになるため、学部教員はもちろん、皆さんの意見に真摯に耳を傾ける心算です。



5年間で確たる位置を

人間健康学部 学部長 等々力 賢治

今次の中期目標・計画における人間健康学部の目指すべき方向性は、次の2点に集約されます。1点目は、2007年の学部創設以降、関係者の不断努力によって築かれてきた諸実績・成果のさらなる充実と発展です。そして2点目は、それを基盤にしつつ、今後5年間で、長野県はもとより関東・中部圏においても「地域の健康づくり」という点でなくてはならない特色ある学部として、その位置を確たるものにするということです。

1点目については、アウトキャンパス・スタディや実習などを通じて実を上げてきた地域との有機的連携・協力のあり方を、学部付設の地域健康支援ステーション等を通じた両学科の融合と、「熟年体育大学(JTRC)」との協力・共同によって、より広範かつ専門性の高いものにすべく取り組みを進めます。2点目は、そうした他に類のない取り組みと実績を基に、その積極的広報と共に、実践に強い管理栄養士や健康運動指導士育成の実績を広くアピールし、より優秀な人材の確保・育成、そして地域への

輩出によって達成していくものです。

今次の中期目標・計画の進行の中で、長野県短期大学の4年制化を睨みつつ、上に述べた本学部の目標についても総力を上げて達成していきたいと考えています。

※「熟年体育大学(JTRC)」との協力・共同については5ページ参照。



松商短期大学部の新たな取組み

松商短期大学部 学部長 山添 昌彦

近年、本学の学生を採用する企業においても英語等の語学力を重視する企業が増えつつあります。その対策として、2014年度に「TOEIC対策」の全員必修化、並びに「国際コミュニケーション・フィールド」の新設を行い、本学の専門教育である商学および経営情報学を活かす観点から、語学の学習を基礎とした異文化理解や新興国の経済・社会理解等を含む教育を展開していきます。同時に、これまでのExcelやWordによるデータ処理能力の修得、Power Pointによる発表力・表現力の育成をさらに進めるために、データや情報をより有効に使いこなせる情報機器「iPad」の活用能力の育成にも取り組み、教員と学生との双方向的学習環境の創出を目指します。また、本学の「就職に強い」という社会的評価を保つために、産学連携をこれまで以上に強化するとともに、特に、同窓会や商工会議所との連携、地元優良中小企業との連携を図ることによってこれまでの高い就職率および地元企業への良好な就職を維持していきます。その一方で、高大連携事業をこれまで以上に推進・発展させ、キャリア教育の観点に立った高校から短大への教育の一貫性および地元高等教育機関の有用性をアピールし、地域社会での本学の存在感を更に高めていきます。



魅力ある地域づくりへの貢献をめざし、 新たに連携協定締結

本学は、「地域を生かす、人づくり大学」というスローガンのもと、地域貢献を大きな柱として、地元自治体や公的機関、教育機関、民間企業と連携協定を結び、特色を生かした様々な取り組みを行っています。このたび新たな連携協定を締結しましたので、ご紹介します。

松本市との間で“正式な”連携協定を締結

総合経営学部 学部長 木村 晴壽



3月11日、本学と松本市の間で、地域づくりに関する連携協定が正式に結ばれました。「正式に」というのは、記者会見でも質問があったように、これまで連携協定がなかったことがむしろ意外だと受け取る人々が多いからです。

松本市に設けられる数々の審議会・委員会・研究会・検討会等に教員が参加したり、

個々の教員が個別の問題で市の担当課と意見交換したり、というかたちで本学は設立以来、松本市と緊密な関係にありました。特に協定を結ぶということもなくこれまで協力関係を保ってきたのは、互いにその必要がなかったからかもしれません。

今回、改めて協定を締結した背景には、21世紀に入りいよいよ地域社会が難しい局面を迎え、複雑な問題を抱え始めたということがあります。行政としても本気で、地域社会がどの方向へ向かえばよいのか、そのために何をすべきなのかを考えなければならない立場となりました。その一方、本学も、学生の地域活動を突破口に、それなりに地域社会へ貢献してはきましたが、果たして本学が貢献したことで地域の問題や課題が解決したのだろうか、という自問に直

面する時期にさしかかっていました。松本市の地域づくりをどうするのか、地域課題をどのように解決するのか、こうした問題はもはや、行政や大学、あるいは住民・企業が個別に動くのでは太刀打ちできないところに来ています。このような事情を背景に、松本市と本学が対等の立場で地域づくりに関し、多角的に共同の調査・研究を進めよう、というのが今回の連携協定の主旨です。

連携協定の締結にさきがけ本年1月には、広く地域社会に呼びかけて地域づくりを考える研究集会が開催されました。「買い物弱者対策」「誰もが参加できる町会運営」「若者を取り込んだ地域づくり」「歴史・文化を活かした地域づくり」「穏やかな協議体による地域づくり」の5分科会で多くの市民が活発に意見を述べ合う場となりました。

現在、本学と松本市により「松本市地域づくり研究連絡会」が設けられ、そこで今後の具体的な調査・研究について協議が進められています。

筑北村の地域活性化と松本大学における教育・研究活動の大きな発展を期待 —筑北村と包括的な協定締結—

人間健康学部長 等々力 賢治

3月26日、本学において、松本大学と筑北村との「連携・協力に関する協定書」の調印式が執り行われました。式には、筑北村から飯森紀元村長、宮坂敬司副村長、関川修次総務課長、岩淵俊夫住民福祉課長、吉池昌昭産業課長の5名が、また、本学からは住吉廣行学長、木村晴壽学部長と私の両学部長、白戸洋教授、根本賢一准教授の6名が出席しました。以上の出席者を一見してお分かりのように、協定は、「両者の有する情報や資源、人材を最大限有効活用し、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を構築し、筑北村の地域活性化と松本大学における教育・研究活動の大きな発展を期待」しようというものです。

両者の関係は、2008年からスポーツ健康学科の根本准教授による、同村の「きらり

☆アクア健康教室」を中心とする健康増進事業（2010年4月1日付けで協定締結）の取り組みに始まります。教室の一環として、本学のトレーニングルームで根本ゼミの学生が村民の皆さんの体力測定を行ってデータを採り、それに基づいて運動指導を行ったり、「アクア」の言葉が示すように同村のプールを利用した水中運動メニューを提供するなどしてきました。また、同村の主催する「ちくほく農村セラピーDAY」といったイベントにも協力してきています。

くわえて、2012年には、観光ホスピタリティ学科の白戸教授が地域素材を活かした加工食品、担い手づくりについて意見交換し今後の協力依頼を受けるなど、大学全体と連携・協力を進める雰囲気、情勢が醸成されつつあったと言えます。協定の内容は、



そうした取り組みをはじめ、健康な地域づくり、医療及び福祉の充実、教育、スポーツ及び文化の振興、農産物加工品の開発、農林業や観光を含む地域の振興、人材育成など多岐にわたっており、筑北村からの期待の大きさを十分に窺い知ることができます。

ご多分にもれず筑北村も過疎と高齢化に直面しており、そうした自治体と大学が連携してどのようなことが可能であるのか、どのような成果を挙げることができるのか、パイロットスタディとしても、協定に基づく多様な事業や取り組みが目玉されます。

進化する高大連携 ～地域人教育パートナーシップ協定

観光ホスピタリティ学科長 白戸 洋

飯田地域における若者の地域への定着を目的とした、本学と飯田市、長野県飯田長姫OIDE高等学校の3者による「地域人教育パートナーシップ協定」が、2013年4月27日に、本学から、住吉廣行学長、木村晴壽総合経営学部学部長が出席し、調印・締結されました。「地域人教育パートナーシップ協定」は、地域に関わる学びを推進するために、2011年度から取り組まれて



きた当時の飯田長姫高校と本学との高大連携協力を発展させ、飯田市も加わり昨年度から開始された事業ですが、飯田長姫高校と飯田工業高校が合併した飯田長姫OIDE高校との間に新たに協定を締結したものです。

地域人教育は、「地域に愛着を持ち、地域を学び、地域に貢献する人材」の育成を目的する飯田長姫OIDE高校の教育活動全体を指し、高校3年間で7単位、245時間をあて、そのうち松本大学は、18時間の講義を担当して実施しています。

昨年度は、総合経営学部の教員を中心に、地域づくりや飯田の産業史、ブランドなどをテーマに高校において講義を行ったほか、6月に開催され本学が参加した「大学はおいしいフェア!!」(新宿高島屋で開催)の視察研修や本学における夏季、春季の高大連携講座

への高校生の参加などを実施しました。

今年度は、さらに大学生と高校生が協働で地元資源を活かした商品開発を行ったり、夏季に飯田地域におけるフィールドワークを実施する予定です。



2012年の「大学はおいしいフェア!!」視察研修

地域の若者を地域で育てて地域に返すという本学の理念を高校や行政と連携して、深化させる取り組みでもあり、地域の中核として期待される本学にとって、新しい挑戦でもあります。

なお、この取り組みは、全国からも注目を集め、日本地域開発センターの研究誌「地域開発」や文部科学省編集による「月刊生涯学習」などに大きく取り上げられているほか、研究者による調査や研究が多数行われています。

熟年体育大学リサーチセンター(JTRC)と 松本大学が連携協定

松本大学 学長/JTRC 理事長 住吉 廣行

信州大学が主導し、会員数も500名を超えていたJTRCですが、松本市からの資金援助の期間も終え、自立の道を歩むことになりました。信大医学研究科の能勢博教授の研究成果を活かし、「スポーツミルク」の開発で連携した明治乳業が協力を申し出てくれましたが、利益相反という理由から、能勢教授はJTRCの理事長職を続けられなくなりました。

この事情が発端となり、前副理事長だった筆者に相談がありました。また、医学研究科は医師養成が任務であり運動指導士を育てる環境にはないため、能勢教授は研究部門は信州大学に置き、運動指導の実践部門をいづれ松本大学の根本賢一准教授、田邊愛子専任講師に任せたいとの構想を温めておられたようでした。

そこで今回、JTRCと松本大学が連携協

定を結び(写真)、松本とその周辺地域を指導対象とする事務局を松本大学へ移行するところまで一挙に話が進展しました。5月24日の理事会、5月28日の総会を経て以上の方針が確定され、筆者が理事長に就任、根本賢一准教授に加え、等々力賢治人間健康学部長、小倉宗彦事務局長や信州大学と連携していた関西大学からも理事が加わり、新体制が発足しました。

JTRC松本大学事務所は7号館に設けられ、これまでの事務局の2名が信州大学から派遣され常駐するだけでなく、根本・田邊両名を補佐する複数名の指導者も週3日ほど滞在し学生の現場実習を引率する等、松本大学としてのアクティビティを大幅にアップしたいと考えています。こうした人件費と事務所経費は、JTRCから支援されることになっています。



松本市の「健康寿命延伸都市」構想を「運動指導による健康づくり」の側面から強力に支援するという視点で見れば、松本大学が本格参入することの意義は大きく、一つは地域社会の中で圧倒的な支持を得ている根本、田邊両先生とそのゼミ生を中心とした学生達の活躍で、指導に携わる範囲が広がり、名実ともに松本市の健康づくりを担えるようになること。二つ目はその結果でもあります。会員数の増加も見込まれJTRCの財政基盤が強化されることです。

生坂村との連携協定を受け、 さまざまな事業始まる



本学と東筑摩郡生坂村は、前号で紹介した連携協定締結をきっかけに一体的な取り組みが始まっています。今回はその取り組みについてご紹介します。

総合経営学部観光ホスピタリティ学科の増尾ゼミナールでは同村教育委員会と提携して、生坂村が生んだ法律家である「加藤正治博士」の紙芝居を制作し、小学校等で演じることによって同村出身の偉人を周知する広報活動に取り組んでいます。加藤正治博士は、明治4年に生坂村で生まれ、明治から昭和初期に至るまで法律の研究者として一線で活躍した方です。特に手続法である破産法の近代化・進歩に尽力しました。また、枢密顧問官・中央大学初代総長などの要職を歴任した他に「犀水」の俳号で俳句の宗匠として多くの門人を育てました。加藤博士は、経歴から想像できる単に法律の研究にのみ没頭した堅いだけの人物ではありません。そして、加藤博士の偉業を喧伝することは、その精神と文化の普及に資することになると考えています。



「加藤正治博士」の紙芝居作成打合せ会

また、スポーツ健康学科でも様々な取り組みが展開されています。4月には生坂中学校生徒の体力測定が岩間ゼミ生らによって行なわれ、最大酸素摂取量等が測定されました。今後、生坂中生徒の体力向上に寄与することが期待されます。5月には田邊ゼミ生らによる中高年者対象の「健康寿命延伸運動プログラム」が始まり、ウォーキング、ヨガ、エアロビクスなど多種多様な講座が展開されます。同月に中島ゼミ生らによる「田んぼの楽校」が始動。発芽観察、馬耕体験、田植え等が実施されました。馬耕体験では、約200名が参加し、健康栄養学科廣田ゼミによるトン汁も好評でした。植えたもち米は、アイガモに守られながら、みんなで稲刈りをし、餅つきをして味わいます。

さらに、大学院三村研究科長による高齢者の運動レベル調査の研究発表が予定されています。



「田んぼの楽校」での馬耕体験

高校生の人材育成事業

『マーケティング塾』を本学がバックアップ



開講式で挨拶する住吉廣行学長

県内で商業を学ぶ高校生が集まり、マーケティングを中心とした流通ビジネスの分野の学習を、体系的かつ組織的に行なうために、長野県商業教育研究会主催で、「デパートサミット」を立ち上げ、12の高校から45名の高校生が参加しています。「デパートサミット」は、月一回全員で集まって学習する「マーケティング塾」と、学習の成果を検証する「全国高校生合同販売『デパートゆにと』」によって構成されていますが、「マーケティング塾」は本学がバックアップし、そのキックオフとして「第一回マーケティング塾」が、高校生40名と高校教諭が参加して、4月27日に本学において開かれました。

開講式では、長野県商業教育研究会の会長である大野整長野商業高校校長や本学の住吉廣行学長が挨拶を行ない、引き続き午前中は、生徒の自己紹介やアイスブレイキングなどのプログラムが実施されました。昼食後、午後からは、本学教員による講義が開かれ、総合経営学部観光ホスピタリ



本学教員による講義

ティ学科の山根宏文教授による「地域資源を活かしたブランドづくり」「売れるパッケージング」、白戸洋教授による「資源の活かし方」、尻無浜博幸教授による「地域の人ってどんな人～高齢者、子どものニーズ」に高校生が熱心に聞きっていました。また、昼食では、本学学生が取り組んで地域の食のブランドとなった「山賊焼」が、これまでの取り組みを紹介したうえで提供され、実践事例について関心を持った様子でした。

講義を踏まえて、地域ごとに「新商品開発」「既存商品の編集」「全国開発商品セレクト」などの4つのグループに分かれ、それぞれのグループでディスカッションを行ない、今後の予定や取り組みなどについて話し合いました。最後に、本学教員も参加してまとめの会が開かれ、各グループからの結果の発表とそれを受けての本学教員の講評が行われました。

参加した本学教員は、一様に、高校生の熱心な姿勢に驚くとともに、彼らの学習意欲の高さに感銘を受けていました。将来、地域や地域経済を担う若者の可能性を大いに感じさせてくれる大変意義ある機会となりました。

今後、月一回のペースでマーケティング塾が開催され、本学教員による講義や商品開発に向けたグループワークなどが行われる予定であり、その成果は、8月19日から21日までながの東急百貨店で開催される「デパートゆにと」で発表される予定です。「デパートゆにと」は、本学も信濃毎日新聞社、長野東急百貨店とともに共催し、地域の人材育成という観点から全面的にバックアップします。

(観光ホスピタリティ学科長 白戸 洋)



御礼、感謝

地域医療公開講座に根本准教授(大学院健康科学研究科・スポーツ健康学科 兼任准教授)をお迎えして

戸田中央医科グループ 医療法人 柏堤会 局長 牛之濱 吉継

私ども医療法人柏堤会(横川秀男理事長)は、関東を中心に25病院、6介護老人保健施設など約100あまりの事業所からなる戸田中央医科グループ(中村隆俊会長・TMG)に属し、横浜市戸塚区を中心に2次救急病院から在宅診療まで、その他小児科・透析・女性専門系のクリニック、訪問看護ステーション、健診センターを運営しております。本年4月には、教育関連施設として横浜未来看護専門学校(横浜市戸塚区)を開校致しました。



私どもは、地域に密着した医療法人の地域貢献活動の一環として、これまで医師、管理栄養士、リハビリテーション職員等による、時々のトピックス、ご要望の高いテーマを取り上げた地域医療公開講座を開催して参りました。このたび、横浜未来看護専門学校の開校記念事業として、竣工したばかりの看護学校で特別講演会を開催致しました。テーマは「効果的なウォーキング法」-10歳若返るインターバル速歩の秘密-として、日本のインターバル速歩の第一人者である松本大学の根本賢一准教授をお迎えしてご講演いただきました。約

120名の参加があり、講演時間は90分でしたが、運動と健康の重要性をユーモアあふれる軽快な語り口と実技を交えた大変分かりやすい講演で、まるでコンサート会場のような熱気に溢れ、講演後も沢山の質問が寄せられ、参加者からのアンケートでも「これまでの公開講座で一番参考になった!」などの感想が寄せられるなど好評を博しました。これもひとえに根本先生の日々の実践、研究の賜物であり、お人柄によるものと関係者一同心より感謝申し上げます。

この特別講演会は、当法人で勤務する松本大学の卒業生が企画運営しました。運営責任者は、戸塚共立メディカルサテライト健診センターの宇津野文菜さん(2010年卒)、司会は法人本部の金子佐和さん(2011年卒)、実技補助者は戸塚共立第1病院医事課の山田麻未さん(2012年卒)(いずれも健康運動指導士・女子ソフトボール部)、戸塚共立リハビリテーション病院総務課の横田朋美さん(2011年卒)、戸塚共立第1病院栄養科の曾根原千彰さん(2011年卒)、森泉真野さん(2012年卒)も運営に協力してくれました。また当法人では、根本ゼミの卒業生を中心に、医師、看護師、管理栄養士のチームによる「戸塚共



立健康支援室」を設けており、ここで行うメタボ教室、健康運動教室の開催や、医師の指示に基づく高血圧症や糖尿病などの患者さんに対する健康運動指導は当法人の医療の質向上を支える一角を担っています。今回の特別講演会を開催して、地域の皆様の期待に応えるべく、卒業生の皆さんが松本大学で培った知識、スキルを仕事として実践できる環境整備をさらに推進して行かなければと再認識致しました。今後とも、引き続き、住吉廣行学長、根本賢一准教授、岩間英明准教授はじめ関係各位のご指導を何卒、よろしくお願い申し上げます。

最後に、卒業生から「ネモケン先生、ありがとうございました!!またよろしくお願致します(^-^)/」

横浜未来看護専門学校開校記念事業
医療法人柏堤会 特別講演会

テーマ 「効果的なウォーキング法」
-10歳若返るインターバル速歩の秘密-

講師 松本大学大学院健康科学研究科
准教授 根本賢一先生

日時 2013年2月25日(月) 午後2時~3時

場所 学校法人栄戸学園 横浜未来看護専門学校

平成25年度 科学研究費助成事業に採択された本学教員の研究

- 「社協ワーカーの専門職自己評価指標の構築 -地域福祉をより推進していくために-」
- 期間：平成23年度~25年度
 - 所属：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 佐藤 哲郎 講師
- 「青少年の生活習慣病予防を目的とした行動科学に基づく多職種連携教育プログラムの確立」
- 期間：平成24年度~26年度
 - 所属：人間健康学部健康栄養学科 廣田 直子 教授

- 「インスリン誘導性転写因子遺伝子 SHARP familyの誘導は血糖低下に関わるか」
- 期間：平成24年度~26年度
 - 所属：大学院健康科学研究科 山田 一哉 教授
- 「次世代を担う女性における栄養素・食品摂取と心の健康に関する研究」
- 期間：平成24年度~26年度
 - 所属：人間健康学部健康栄養学科 小西 香苗 講師

- 「独居高齢者の安否確認と病院・民間連携による栄養サポートシステムの開発」
- 期間：平成24年度~26年度
 - 所属：人間健康学部健康栄養学科 藤岡 由美子 講師
- 「地域福祉活動実践における『地域福祉の推進力(アウトカム)』評価指標の構築」
- 期間：平成25年度~27年度
 - 所属：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 佐藤 哲郎 講師
- 「中途身体障害者エキスパートスポーツ選手を対象とした自己変容過程の質的分析」
- 期間：平成25年度~26年度
 - 所属：人間健康学部スポーツ健康学科 齊藤 茂 講師

人事短信

学長 住吉 廣行

■ 大学院健康科学研究科

研究科長 三村 芳和

■ 総合経営学部

学部長 木村 晴壽

学科長(総合経営) 太田 勉

学科長(観光ホスピタリティ) 白戸 洋

■ 人間健康学部

学部長 等々力賢治

学科長(健康栄養) 廣田 直子

学科長(スポーツ健康) 吉田 勝光

■ 短期大学部

学部長 山添 昌彦

学科長(商) 糸井 重夫

学科長(経営情報) 藤波大三郎

■ 全学委員会

教務委員長 岩間 英明

学生委員長 齊藤 茂

入試委員長 上野 隆幸

広報委員長 太田 勉

就職委員長 藤波大三郎

■ 教育支援会議

高大連携推進委員長 山添 昌彦

教育企画推進委員長 糸井 重夫

地域連携戦略委員長 木村 晴壽

■ 研究支援会議

研究推進委員長 山田 一哉

研究誌編集委員長 山田 一哉

松本大学出版会委員長 山添 昌彦

地域総合研究センター運営委員長 住吉 廣行

研究倫理委員長 三村 芳和

動物実験委員長 三村 芳和

遺伝子組換え実験安全委員長 三村 芳和

■ 自己点検・評価会議

FD・SD委員長 高木 勝広

規定整備委員長 木村 晴壽

認証評価対策委員長 上野 隆幸

IR推進委員長 浜崎 央

■ エクステンション機構(教育部門)

教職センター運営委員長 小林 輝行

資格取得支援センター長 林 昌孝

共通教養センター長 等々力賢治

キャリア教育センター運営委員長 糸井 重夫

基礎教育センター運営委員長 福島 智子

情報センター運営委員長 浜崎 央

国際交流センター運営委員長 白戸 洋

地域健康支援センター運営委員長 廣田 直子

地域づくり考房「ゆめ」運営委員長 廣瀬 豊

図書館運営委員長 篠原由美子

■ エクステンション機構(管理部門)

健康安全センター運営委員長 三村 芳和

施設管理センター運営委員長 小倉 宗彦

■ 人権会議

ハラスメント防止委員長 犬飼己紀子

人権教育委員長 齊藤 茂

個人情報保護委員長 吉田 勝光

■ 危機管理会議

防災対策委員長 室谷 心

環境保全委員長 中澤 朋代

センター入試委員長 松原 健二

■ 大学事務局

大学事務局長 小倉 宗彦

学生センター長 松尾 淳彦

総務課長 柴田 幸一

管理課長 臼井 健司

教務課長 丸山 勝弘

入試広報室長 中村 文重

学生課長 丸山 正樹

キャリアセンター課長 清水 康司

情報センター課長 松尾 淳彦

■ 法人事務局

法人事務局長 高橋 慈夫

人事課長 横山 文博

会計課長 赤羽 雄次

新任者

<専任教員>

人間健康学部健康栄養学科 教授 杉山 英男

人間健康学部健康栄養学科 専任講師 成瀬 祐子

人間健康学部スポーツ健康学科 専任講師 中島 節子

教職センター副センター長・教授 川島 一夫

教職センター 教授 征矢野達彦

基礎教育センター 講師 日野谷則男

<職員>

カウンセラー 小田切なをみ

キャリアセンター 顧問 田中 紀夫

教務課 主事 田嶋 哲也

女子ソフトボール部 コーチ兼寮監 高野 響

異動

入試広報室 主事 松島 大樹

(松本秀峰中等教育学校から転入)

就任あいさつ



大学院
健康科学研究科長
三村 芳和

新研究科長が思う 健康についての徒然

年々歳々 花相似たり

朽ちることなくいつまでも生き続ける植物。毎年、そのときを忘れずに花を咲かせ

る。山もそうだ。学生の頃の穂高や後立山。四十年経った今も山容は変わらず、雪化粧と雪解けのときを決して忘れない。自然の鼓動とリズムは永遠に続くように思われる。しかし、

歳々年々 人同じからず

ヒトは不老長寿の妙薬を手に入れたかのように駆け足でその寿命を延ばしてきた。でもそれは花に比べれば「行く河の…泡の如し」。

(筆者のように)馬齢をただ重ねる者。短くも珠玉の光を放ち、露の玉となって最愛の人の指の間を落ちていく者。長く生きる人と短く一生を終える者のそれぞれに春夏秋冬がある。

庶民と貧窮者の生活を名文で綴った樋

口一葉。幕末の改革の師、吉田松陰。散華はいずれも二十代。司馬遷は宦刑に甘んずるも長大な歴史書を世に上梓。二千年経ったいまでも世界のベストセラー。文字通り、死して虎は皮を残し、人は名を残す。カラダは朽ちても文とその為したワザは延々と命脈を保つ。

人は運命的な各人の命題 ― どう生きるか ― にどれだけ悩みを深めたかにより、その心象風景が違って来る(と思う)。多分、一生を過ごした物理的時間とは関係がないのだろう。

「いかに健康的に生きるか」を突きつけられている(気がする)昨今、生きる時間の立ち位置を考えてみた。内なる心の春夏秋冬が色濃く、豊かであることを願う。

未来への旅立ちと 新たな出会いと

— 平成24年度学位授与式・平成25年度入学式 —

総務課長 柴田 幸一

3月23日、本学第一体育館を会場に、平成24年度学位授与式を挙行了しました。

栄えある大学院健康科学研究科第1期生2名をはじめ、総合経営学部192名、人間健康学部158名、松商短期大学部184

名の計536がそれぞれの志を胸に社会に羽ばたきました。

大学院修士生・卒業生を代表し、学友会長を務めた岩原聡史さんは、松本大学の建学の精神「自主独立」を心に秘め、自ら

の未来を切り拓くために力強く旅立つことに併せて、地域社会の方々へ温かく見守っていただいたことへの深い感謝の思いを壇上で熱く述べました。



また、4月3日には、新たな学友を迎える平成25年度入学式を挙行し、全学624名の新入生が本学の門をくぐりました。新入生代表の堀内涼香さんは、高校時代に感銘を受けたという哲学者鷗田清一氏の言葉を引き、「現代社会では、他者の視点から見て、本当に必要なことを考え、思いやりを持った行動が求められる」ことを訴え、臨席者の感動を呼びました。

蒼穹の下、若人の未来への旅立ちと、新たな出会いとが交錯する松本大学の春でした。



2013年度入学試験の状況

2013年度の入学試験については、松本大学の2学部、松本大学松商短期大学部のすべてが、1年次入学生の定員を充足することができました。しかも、いずれの学部も前年度より志願者数が増加しています。

総合経営学部では志願者数が332名と、前年度よりも45名増加しました(前年比約1.2倍)。同様に人間健康学部では507名と89名の増加(同約1.2倍)、松商短期大学部では269名と19名の増加(同約1.1倍)となりました。すなわち、いずれの学部においても「前年度よりも難関の入試」であったと言えます。

多くの地方私立大学・短期大学が「定員割れ」や「前年度割れ」に直面する現在において、この結果は素晴らしいものであったと自負しております。

2014年度学生募集についても、この結果を上回る志願者数を目指し、入試委員会として総力をあげて取り組みたいと考えております。

(入試委員長 上野 隆幸)

■ 松本大学大学院[修士課程]

研究科	専攻	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
健康科学	健康科学	6	8	8	6	133.3%	5	5	83.3%
合計		6	8	8	6	133.3%	5	5	83.3%

※留学生を除く

■ 松本大学 1年次入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	80	187	185	127	145.7%	94	94	117.5%
	観光ホスピタリティ	80	145	144	116	124.1%	89	89	111.3%
	小計	160	332	329	243	135.4%	183	183	114.4%
人間健康	健康栄養	80	266	262	130	201.5%	92	92	115.0%
	スポーツ健康	80	241	239	126	189.7%	101	101	126.3%
	小計	160	507	501	256	195.7%	193	193	120.6%
合計		320	839	830	499	166.3%	376	376	117.5%

※留学生を除く

■ 松本大学 編入・転入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	10	8	8	6	133.3%	6	6	60.0%
	観光ホスピタリティ	10	0	0	0		0	0	0.0%
	小計	20	8	8	6	133.3%	6	6	30.0%
人間健康	健康栄養	5	3	3	3	100.0%	2	2	40.0%
	スポーツ健康	10	4	4	2	200.0%	2	2	20.0%
	小計	15	7	7	5	140.0%	4	4	26.7%
合計		35	15	15	11	136.4%	10	10	28.6%

※留学生を除く

■ 松本大学松商短期大学部

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
短期大学部	商	100	141	140	125	112.0%	120	119	119.0%
	経営情報	100	128	128	119	107.6%	113	113	113.0%
	合計	200	269	268	244	109.8%	233	232	116.0%

※留学生を除く

各種検定試験取得状況

別表のとおり、現在、本学学生がチャレンジしている検定試験及び資格取得試験は47種類あります。その内訳は、検定試験が22種類、資格取得試験が25種類(内国家資格は11種類)となっています。

検定試験の種類によっては、受験者数が伸びたり、上位級の受験者が増えたり、合格率が大幅に上がっているものがあります。年間

の述べ受験者数は、平成23年度が3,377人、平成24年度は3,168人です(教職除く)。奨励金(取得した検定資格の難易度に応じた金額を支給)の受給者数も延べ377人で、総額2,764,160円となっています。これからもスキルアップのために、頑張ってもらいたいと思います。(情報センター課長 松尾淳彦)

区分						区分						区分								
区分	実施回数	学部	応募者数	受験者数	合格者数	合格率	区分	実施回数	学部	応募者数	受験者数	合格者数	合格率	区分	実施回数	学部	応募者数	受験者数	合格者数	合格率
日商簿記検定試験						情報処理技能(表計算) 検定試験						ファイナンシャル・プランニング								
1級	年2回	短大部 大学部	0 2	0 2	0 0	- 0.0%	初段	年4回	短大部 大学部	51 2	50 2	4 0	8.0% 100.0%	2級総合	年3回	短大部 大学部	- -	- -	- 0	- -
2級	年3回	短大部 大学部	68 15	59 13	7 3	11.9% 23.1%	1級	年4回	短大部 大学部	162 69	154 67	108 57	70.1% 85.1%	2級学科	年3回	短大部 大学部	1 3	0 3	0 1	0 33.3%
3級	年3回	短大部 大学部	168 25	137 24	28 4	20.4% 16.7%	2級	年4回	短大部 大学部	172 271	166 253	137 198	82.5% 78.3%	2級実技	年3回	短大部 大学部	1 3	0 3	0 1	- 33.3%
販売士検定試験						情報処理技能(データベース) 検定試験						3級総合								
1級	年1回	短大部 大学部	0 0	0 0	0 0	- -	1級	年4回	短大部 大学部	8 2	8 1	7 1	87.5% 100.0%	3級学科	年3回	短大部 大学部	49 15	41 12	18 7	43.9% 58.3%
2級	年1回	短大部 大学部	7 4	4 2	2 2	50.0% 33.3%	2級	年4回	短大部 大学部	68 2	66 0	55 0	83.3% -	3級実技	年3回	短大部 大学部	56 15	48 12	13 5	27.1% 41.7%
3級	年2回	短大部 大学部	30 29	28 23	14 17	50.0% 73.9%	3級	年4回	短大部 大学部	27 0	26 0	25 0	96.2% -	総合旅行業務取扱管理者試験						
全経簿記能力検定試験						ホームページ作成検定						国内旅行業務取扱管理者試験								
1級総合	年3回	短大部 大学部	- -	- -	1 0	- -	1級	年4回	短大部 大学部	42 21	41 21	39 17	95.1% 81.0%	年1回	短大部 大学部	- -	- -	1 6	- -	
1級会計	年3回	短大部 大学部	19 1	14 0	2 0	14.3% 0.0%	2級	年4回	短大部 大学部	3 42	3 42	3 39	100.0% 92.9%	年1回	短大部 大学部	- -	- -	- 5	- -	
1級工簿	年3回	短大部 大学部	36 2	32 2	18 2	56.3% 100.0%	3級	年4回	短大部 大学部	0 1	0 0	0 0	- -	ITパスポート						
2級	年3回	短大部 大学部	28 0	21 0	11 0	52.4% -	日本語ワープロ検定試験						基本情報技術者							
3級	年3回	短大部 大学部	140 0	133 0	114 0	85.7% -	初段	年4回	短大部 大学部	6 3	6 2	0 0	0.0% 0.0%	年1回	短大部 大学部	- -	- -	1 1	- -	
ビジネス文書検定試験						文書デザイン検定試験						レクリエーション・インストラクター								
2級	年2回	短大部 大学部	4 0	4 0	1 0	25.0% -	1級	年4回	短大部 大学部	40 13	39 13	7 4	17.9% 30.8%	レクリエーション・コーディネーター						
3級	年2回	短大部 大学部	82 0	78 0	70 0	89.7% -	準1級	年4回	短大部 大学部	56 9	52 9	11 6	21.2% 66.7%	年1回	短大部 大学部	- -	2 2	2 2	100.0%	
サービスマン検定試験						プレゼンテーション作成検定試験						健康運動実践指導者								
1級	年2回	短大部 大学部	0 0	0 0	0 0	- -	2級	年4回	短大部 大学部	65 47	62 45	37 33	59.7% 73.3%	年1回	短大部 大学部	- -	29 24	22 14	75.9% 58.3%	
準1級	年2回	短大部 大学部	0 4	0 4	0 4	- 100.0%	準2級	年4回	短大部 大学部	79 97	76 95	49 62	64.5% 65.3%	健康運動指導士						
2級	年2回	短大部 大学部	4 17	4 16	4 9	100.0% 56.3%	3級	年4回	短大部 大学部	32 74	29 66	26 54	89.7% 81.8%	年1回	短大部 大学部	- -	24 14	14 14	58.3% -	
3級	年2回	短大部 大学部	17 1	16 1	9 1	56.3% 100.0%	文書デザイン検定試験						第一種衛生管理者							
秘書検定試験						Word						トレーニング指導者								
1級	年2回	短大部 大学部	0 0	0 0	0 0	- -	1級	年4回	短大部 大学部	35 0	32 0	10 0	31.3% -	年1回	短大部 大学部	- -	2 1	1 1	50.0%	
準1級	年2回	短大部 大学部	0 0	0 0	0 0	- -	2級	年4回	短大部 大学部	88 79	79 34	34 43	43.0% 54.4%	フードスペシャリスト						
2級	年3回	短大部 大学部	7 17	7 14	2 7	28.6% 50.0%	3級	年4回	短大部 大学部	1 1	1 1	0 1	0.0% 100.0%	年1回	短大部 大学部	- -	69 62	62 89.9%		
3級	年3回	短大部 大学部	217 6	197 4	156 3	79.2% 75.0%	Excel						管理栄養士							
色彩検定試験						Powerpoint						栄養士								
2級	年2回	短大部 大学部	0 0	0 0	0 0	- -	1級	年4回	短大部 大学部	23 38	23 37	21 34	91.3% 91.9%	年1回	短大部 大学部	- -	63 33	33 52.4%		
3級	年2回	短大部 大学部	5 2	5 2	5 0	100.0% 0.0%	Microsoft Office Specialist						栄養士							
アシスタントブライダルコーディネーターABC検定						保険請求事務技能検定試験 [医科]						食品衛生管理者・食品衛生監視員								
年1回	短大部 大学部	6 0	5 0	5 0	100.0% -	1級	年4回	短大部 大学部	2 2	2 2	2 2	100.0% -	高等学校教諭							
日本漢字能力検定						診療報酬請求事務能力検定試験						一種(公民)								
2級	年3回	短大部 大学部	36 35	35 31	5 6	19.4% 14.3%	2級	年4回	短大部 大学部	0 42	0 39	0 29	- 74.4%	一種(地理歴史)						
準2級	年3回	短大部 大学部	17 20	16 16	6 8	37.5% 50.0%	3級	年4回	短大部 大学部	0 3	0 3	0 3	- 100.0%	一種(福祉)						
3級	年3回	短大部 大学部	3 3	3 3	2 1	66.7% 33.3%	福祉住環境コーディネーター						一種(情報)							
保険請求事務技能検定試験 [歯科]						調剤報酬請求事務技能検定試験						一種(商業)								
年1回	短大部 大学部	- -	14 0	14 0	14 0	100.0% -	1級	年4回	短大部 大学部	0 26	0 19	0 19	- 73.1%	一種(保健体育)						
調剤報酬請求事務技能検定試験						福祉住環境コーディネーター						一種(保健)								
年1回	短大部 大学部	- -	26 0	19 0	19 0	73.1% -	3級	年1回	短大部	- -	- -	0 0	- -	中学校教諭						
福祉住環境コーディネーター						保険請求事務技能検定試験 [歯科]						一種(社会)								
年1回	短大部 大学部	- -	14 0	14 0	14 0	100.0% -	養護教諭						一種(保健体育)							
調剤報酬請求事務技能検定試験						養護教諭						一種(保健)								
年1回	短大部 大学部	- -	26 0	19 0	19 0	73.1% -	年1回	短大部 大学部	- -	68 3	29 2	42.6% 66.7%	司書教諭							
福祉住環境コーディネーター						養護教諭						学芸員								
年1回	短大部 大学部	- -	14 0	14 0	14 0	100.0% -	年1回	短大部 大学部	- -	68 3	29 2	42.6% 66.7%	社会福祉士							
福祉住環境コーディネーター						養護教諭						自然体験活動(CONE)指導者								
年1回	短大部 大学部	- -	14 0	14 0	14 0	100.0% -	年1回	短大部 大学部	- -	68 3	29 2	42.6% 66.7%	図書館司書							
福祉住環境コーディネーター						養護教諭						ホームヘルパー								
年1回	短大部 大学部	- -	14 0	14 0	14 0	100.0% -	年1回	短大部 大学部	- -	68 3	29 2	42.6% 66.7%	医療事務コンピュータ能力技能検定試験							
福祉住環境コーディネーター						養護教諭						医療事務コンピュータ能力技能検定試験								
年1回	短大部 大学部	- -	14 0	14 0	14 0	100.0% -	年1回	短大部 大学部	- -	68 3	29 2	42.6% 66.7%	医療事務コンピュータ能力技能検定試験							
福祉住環境コーディネーター						養護教諭						医療事務コンピュータ能力技能検定試験								
年1回	短大部 大学部	- -	14 0	14 0	14 0	100.0% -	年1回	短大部 大学部	- -	68 3	29 2	42.6% 66.7%	医療事務コンピュータ能力技能検定試験							



キャンパスを飛び出し
地域で学ぶ!

アウトキャンパス・スタディ

out campus study

▶ 「お見合い大作戦IN松川村」にてボランティア

観光ホスピタリティ学科
教授 益山 代利子

5月25日快晴の松川村にて、TBSの番組「もてもてナイティナインお見合い大作戦」の収録がありました。この番組は真剣にお見合いしたいカップルを対象に婚活パーティを計画し全国から未来の花嫁さんを募集し、松川村の男性とお見合いをプロデュース。このイベントに観光ホスピタリティ学科益山ゼミがボランティアとして参加しました。

場所は松本からバスで1時間ほどの松川村役場。参加した3年、4年生の男女5名は、



会場設営や飲料水や食事提供のボランティアに加えて、メイン会場での花嫁さんや花婿さん候補の男女60名ほどを松川村の住民約千人と共に お出迎えました。お出迎えのイベントには地元の小中学生に

より演奏会やダンス披露、安曇節や太鼓の演奏、書道ガールズのパフォーマンスなどバラエティ豊かなパフォーマンスが次々と収録されました。そんな中、益山ゼミは参加した住民への「おもてなし隊」として軽食のふるまいを担当し、イベントを盛り上げました。この番組は、6月25日の夜7時より放映される予定です。

益山ゼミでは、現在、各種婚活イベントの



調査活動を行っており、地元の観光資源を上手く利用したイベントの企画づくりを学んでいます。今回の松川村での「おもてなし隊」ボランティア活動に加えて、村婚イベントの事前調査として松川村商工観光課での聞き取り調査を行いました。今後は、松本での街コンの実態調査を行い、最終的には池田町での婚活パーティの企画案を提出する目標を立てています。

▶ 信州の食品関連企業を知る

— そば打ち体験で長野県に根ざした管理栄養士を育成 —

健康栄養学科
専任講師 矢内 和博

食品関連企業の実際の現場に触れたり、食品加工体験をする、健康栄養学科1年生を対象とした「食品学実験」のアウトキャンパス・スタディを4月17日に実施しました。今年は開学部以来お世話になっている諏訪市にある株式会社高山製粉と、宮田村にある本坊酒造株式会社の信州マルス蒸留所、株式会社北川製菓駒ヶ岳工場を訪問しました。

株式会社高山製粉は私が松本大学に就任して以来、アウトキャンパス・スタディでお世話になっている会社であり、そば打ち体験施設を持っています。そばは信州の代表的な食品であり、学生がそば打ち体験することは非常に有意義だと感じています。この岩波金太郎さんという専属講師のそば打ちレクチャーは、笑いと驚きの連続で学生の心を鷲掴みにし、最後まで飽きのこない体験ができます。毎年、学生が一生涯そばをこねて、伸ばして、切ると悪戦苦闘し

ながらも、出来たそばを美味しく食べている光景を見ると、今年も訪問してよかったと思います。学生の感想を見ると、水回しの重要性、捏ねる意味など、疑問や気付きなどの感想が多いことに少し驚きを感じます。



次に訪れた本坊酒造の信州マルス蒸留所では、製造設備や熟成樽を見学しながら、学生たちは真剣に説明を聞いていました。オーク樽はウイスキーの香りを想像させ、その熟成は日本酒のように数ヶ月ではなく何年もかけてゆっくりと行われます。熟成室は時がゆっくりと流れ、不思議な空気に包まれていること



を学生は感じ取ってくれたらと思います。

最後の北川製菓駒ヶ岳工場にはドーナツをつくる大きなラインがあり、大量生産の現場を体感できました。また、食品の現場は製造する食品によって異なり、ドーナツ製造は揚げる工程があるため非常に暑いことを体験できたと思います。

学生が食の問題解決を可能にするスキルを身に付け、地域とともに歩み、地域で活躍できる人材に成長するように、これからもどんどん地域で学ぶ機会を設けていきたいと思っています。

卒業生の進路

平成24年度の就職内定率(就職希望者に対する内定者の割合)は大学全体で95.0%と、昨年の94.2%をわずかながら上回る結果となりました。

さらなるキャリア支援体制の充実をめざし、平成24年度の活動を振り返り、各学部の状況についてまとめます。

総合経営学部 地域の幅広い分野に人材を輩出

平成24年度の総合経営学部卒業生の就職率は94.5%となりました。近年の厳しい雇用情勢の中、3年連続で就職率の向上が実現できたのは、学生、保護者、教職員の間で密接な連携を重ねてきたことの結果であると思います。総合経営学科では金融業、卸売・小売業、製造業、サービス業など、観光ホスピタリティ学科では鉄道業、宿泊業、医療・福祉サービス業など、大学での学びを活かす形で多彩な就職先が広がっています。また近年は、両学科とも国家公務員、地方公務員などの公的機関に多数の人材を輩出しています。

(就職委員会 総合経営学部主任 畑井 治文)

人間健康学部 馬を水辺に連れていけても…

人間健康学部では、平成24年度卒業生の就職決定率97.3%と、高い数値で学生を社会に送り出すことができました。本学部生の就職活動に際しては、例年スタートの号砲が世間より遅れているのではないかと思うほどおもむろな動きをみせる学生の様子に、就職への動機づけ指導のあり方を一考しなければと思うこの頃です。“馬を水辺に連れていけても、水を飲ませることはできない”の例えに学び、学生の主体的行動による就職活動サポートに心していこうと考えています。

(就職委員会 人間健康学部主任 犬飼 己紀子)

松商短期大学部 金融機関への絞り込み志望から他業種志望への展開

近年の就職志望先は、金融機関だけでなく他の様々な業種へと多様化して来ています。平成24年度は、平成23年度から取り組んで来た「金融スペシャリスト」プログラムの完成年度であり、簿記検定はもとよりFPや証券外務員などの金融専門の資格試験合格者も多数出て、金融機関への就職期待が高まりましたが、結果はそれらの合格者のほとんどが金融機関以外の企業へと就職しました。これは、金融機関側での短大求人枠の減少があり、それに伴い学生側の安全策として他業種の併願が要因ではないかと考えられます。

(就職委員会 短期大学部主任 長島 正浩)

松本大学大学院 第一期修了生を輩出

松本大学大学院健康科学研究科では、今春初めて2名の院生が修了しました。世の中の就職状況は大変厳しいものがありますが、無事に社会に旅立つことが出来ました(南信ヤクルト株式会社、富士産業株式会社)。今後は研究科で学んだ多くのことを生かし世のため人のために活躍されることを期待しています。

(大学院 就職委員 根本 賢一)

総合経営学部

進路別	男	女	計
就職	121	50	171
編入・進学	0	1	1
進路未決定	5	5	10
家居・その他	6	4	10
合計	131	61	192

就職内定率
94.5%
(就職内定者171人/就職希望者181人)

▼就職先一覧

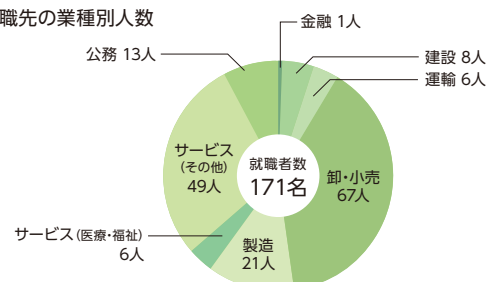
業種	企業名	男	女	計
金融	長野県労働金庫	1	0	1
	稲水ハウス㈱	1	0	1
	㈱宇丹工務所	1	0	1
	㈱ABCホーム	1	0	1
建設	㈱岡谷組	0	1	1
	更地建設㈱	1	0	1
	㈱サンプロ	0	1	1
	㈱大野建設	1	0	1
	トリアン㈱	1	0	1
運輸	アルピコ交通㈱	0	1	1
	東日本旅客鉄道㈱	1	0	1
	佐川急便㈱	1	0	1
	信州名鉄運輸㈱	1	0	1
卸・小売	㈱大有	1	0	1
	ヤマト運輸㈱	1	0	1
	アークランドサカモト㈱	1	0	1
	㈱飯島商店	1	0	1
	伊丹産業㈱	1	0	1
	コトバス	0	1	1
	㈱エフケー	1	0	1
	上條製材㈱	1	0	1
	㈱関東甲信クボタ	1	0	1
	共栄医科器械㈱	1	0	1
	㈱クワリのアオキ	0	1	1
	㈱ケーヨー	1	0	1
	甲信商事㈱	0	1	1
	㈱サイサン	1	0	1
	㈱サトシューズスタジオ	1	0	1
	㈱サン工業	1	0	1
	サンリン㈱	1	0	1
製造	昭和電機産業㈱	1	0	1
	㈱ジゲン	1	0	1
	㈱スズキ自販長野	1	0	1
	㈱スズキ自販南信	0	1	1
	スバル信州㈱	1	0	1
	生活協同組合コープながの	1	0	1
	㈱立石コーポレーション	1	0	1
	㈱長印	1	0	1
	㈱ツルヤ	1	1	2
	デュロ㈱	1	0	1
	㈱デンセン	3	0	3
	トモ工業㈱	0	1	1
	トヨタグループ	1	0	1
	㈱ドン・キホーテ	1	0	1
	中日本メディアカルリンク㈱	1	1	2
	㈱長野セキノ興産	1	0	1
	㈱長野ダイハツモーターズ	1	0	1
㈱南信生花	1	0	1	
㈱西添	1	2	3	
㈱パロー	3	0	3	
㈱フィールコーポレーション	1	0	1	
㈱フジカーランド上田	1	0	1	
ブリヂストンタイヤ長野販売㈱	2	0	2	
堀川産業㈱	1	0	1	
㈱マツザフ	1	0	1	
㈱マツモトキヨシ甲信越販売	1	0	1	
㈱松本マツダオート	1	0	1	
㈱マツヤ	3	3	6	
㈱丸屋家具	1	0	1	
㈱メガネのハラダ	0	1	1	
㈱モリキ	0	1	1	
㈱ライトオン	0	1	1	
㈱ロイヤルオートサービス	1	0	1	
㈱和田正通信サービス	0	1	1	
㈱総半ホームエイド	3	0	3	
T Sネットワーク㈱(契約)	1	0	1	
赤田工業㈱	1	0	1	
㈱あづみ野	1	0	1	
㈱安曇野ミネラルウォーター	0	1	1	
アルプス種火工業㈱	1	0	1	
アルプスジャツ㈱	1	0	1	
㈱イースタン	1	0	1	
㈱栄光製作所	1	0	1	
片倉機器工業㈱	1	0	1	
㈱金子きこ園	1	0	1	
㈱グルメリカ	1	0	1	
山洋電気テクノサービス㈱	1	0	1	
㈱ジンエイ・ハイデック	1	0	1	

業種	企業名	男	女	計
製造	㈱総合印刷	0	1	1
	大和冷機工業㈱	1	0	1
	東部金属㈱	1	0	1
	ニッキトライシステム㈱	0	1	1
	㈱日邦パルプ	0	1	1
	日本プラバレット㈱	1	0	1
	㈱ノムラ	1	0	1
	ポト㈱	0	1	1
	㈱マシンエンジニアリング	1	0	1
	小林歯科医院	0	1	1
サービス(医療・福祉)	南信勤労者医療協会 諏訪共立病院	0	1	1
	社会福祉法人幸充	1	0	1
	社会福祉法人サンあなん	1	0	1
	特定非営利活動法人SUWAN	1	0	1
	㈱ソーシャル・ネットワーク	1	0	1
	あづみ農業協同組合	2	0	2
	塩尻市農業協同組合	1	0	1
	洗馬農業協同組合	0	1	1
	長野八ヶ岳農業協同組合	1	0	1
	松本ハイランド農業協同組合	2	0	2
お宿なごみ野	0	1	1	
お宿五千尺	0	1	1	
東洋観光事業㈱	0	1	1	
㈱長野ホテル犀北館	1	0	1	
㈱ニューコーポレーション	1	0	1	
㈱ホテルニューステーション	0	1	1	
㈱明神館	0	1	1	
㈱アグアイオ	1	0	1	
㈱アスタップ信州	0	1	1	
イタリキキッペンおりべ	0	1	1	
オガサワラ林業㈱	1	0	1	
キッセイコムテック㈱	1	0	1	
㈱コーケン	1	0	1	
㈱サクリン甲信越	1	0	1	
三夢㈱	1	0	1	
㈱三公商事	2	0	2	
㈱三和リース	1	0	1	
監査会計事務所	1	0	1	
㈱信州さかみ典礼	0	1	1	
㈱高見澤	0	1	1	
㈱タツノ	1	0	1	
㈱長野エコーサブライ	0	1	1	
㈱長野自動車センター	1	0	1	
日本郵便㈱	1	0	1	
㈱博善社	0	2	2	
㈱バリューソフトウェア	0	1	1	
フィールズ㈱	1	0	1	
㈱ペーパー・シャワーズ	0	1	1	
細野農産	1	0	1	
穂高カンントリー㈱	0	1	1	
松本浅間カントリークラブ㈱	0	1	1	
松本広域森林組合	1	0	1	
松本商工会議所	1	0	1	
松本倉庫㈱	1	0	1	
㈱マルギンインターナショナル	1	0	1	
㈱ミヤガフ	0	1	1	
㈱メディック	1	0	1	
吉田興産㈱	1	0	1	
ラポール・ラボ㈱	0	1	1	
㈱ららら	1	0	1	
公務	国家公務員一般職 防衛省	1	0	1
	自衛隊	1	0	1
	長野県警察	2	0	2
	警視庁	1	0	1
	富山県警察	1	0	1
	東御市役所	1	0	1
	辰野町役所	0	1	1
	臣北広域消防	1	0	1
	松本市役所(嘱託・臨時)	1	2	3
	大町市役所(臨時)	0	1	1
計	121	50	171	

進学先一覧

進学	学校名	男	女	計
進学	愛知工業大学大学院 大学院経営情報科学研究科	0	1	1
計		0	1	1

■就職先の業種別人数



人間健康学部

進路別就職内定率表

就職内定率 97.3% (就職内定者142人/就職希望者146人)

健康栄養学科就職先一覧

健康栄養学科就職先一覧表

スポーツ健康学科就職先一覧

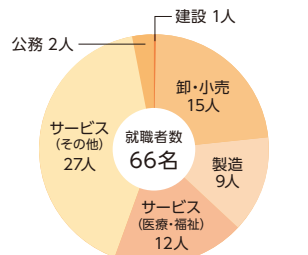
スポーツ健康学科就職先一覧表

進学先一覧

健康栄養学科/スポーツ健康学科進学先一覧表

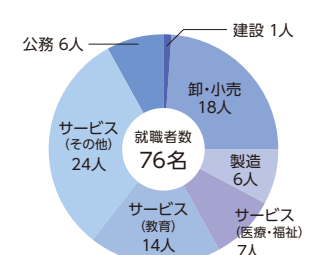
健康栄養学科

就職先の業種別人数



スポーツ健康学科

就職先の業種別人数



松商短期大学部

進路別就職内定率表

就職内定率 93.5% (就職内定者143人/就職希望者153人)

就職先一覧

松商短期大学部就職先一覧表

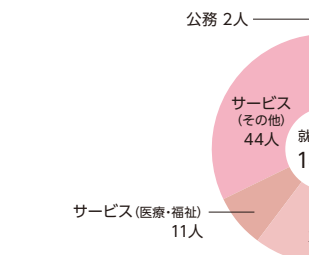
就職先一覧

松商短期大学部就職先一覧表

進学先一覧

松商短期大学部進学先一覧表

就職先の業種別人数





話と和と輪、想像と創造の空間 地域づくり考房『ゆめ』

地域づくり考房『ゆめ』 福島 明美

想いをカタチに

地域づくり考房『ゆめ』は、学生への教育と学習の融合を目的に、大学で学んだ知識や技術を地域づくりの中で実践的に活かしていくことを目指しています。また、講義で学んだ内容をさらに広げ、地域社会の中で生きた学習活動を地域の方々と一緒に進める、学生主体の活動への支援を行っています。

新年度が始まり、考房『ゆめ』は社会貢献活動を行おうとする学生の活力あふれる空間となっています。学生スタッフ・プロジェクトリーダー合同企画の「ゆめカフェ」等で、新メンバーが加わりました。各プロジェクトは、地域の中で学生が「できること・やりたいこと」を実践するためにチームを作り、地域と連携した活動を進めていきます。

考房『ゆめ』では、企画立案や運営の手法、新たな地域とのネットワークづくりへの情報提供他、学生の活動運営におけ様々な支援を行っています。学生は、『ゆめ』のコーディネートに支えられ、地域活動への想いを具体的なカタチにしていきます。みんなで考えを出し合い、積み上げていく中で、問題・課題解決能力や協力の大切さも学んでいます。こうして、いま社会で必要とされるコミュニケーション力や実践力が身につけていきます。

栄村の復興第1に!!

栄村の農産物や加工品の販路拡大と特産品共同開発による復興支援!!

一ええじゃん栄村一

2011年3月12日に発生した栄村大震災で被災した栄村を応援しようと学生プロジェクト「ええじゃん栄村」が2011年5月、その年の1年生5名で結成しました。全壊した直売所「かあちゃん家」と連携し、これまで栄村産の山菜・野菜・味噌・米・加工品等の販路拡大に向けた活動を学内外で進めてきました。また、各種イベントで栄村産トマトジュースの販売を行い、その収益金をかあちゃん家の再建資金として全額寄付しました。

あわせて2012年春からは、栄村の特産「行者ニンニク」を使った新たな特産品開発をさかえお菓子クラブの皆さんと協働で進めてきました。学生のアイデアで試作し、さらに大学祭での来場者からの声を反映して試作を重ねたモノやレシピ等を配送し、それを基にお菓子クラブが試作。そこからのアドバイスを受け、さらに改良を重ねました。

被災された皆さんとの連携です。生活が最優先であることや遠距離のため直接会う話し合う回数が少ない中、スムーズには進みませんでした。行者ニンニクが旬の今、学生が最終提案した6品のうち3品を商品化することになりました。栄村特産加工センターで製造するため栄村が製造者となります。

村職員にも試食いただき最終決定しました。



5月22日には、新メンバーも含め14人が栄村に赴き、お菓子クラブの皆さんと商品化に向けた打ち合わせと村内見学や行者ニンニク畑の視察を行いました。

名称やパッケージは、プロジェクト外の学生の協力も得て、作成しています。6月末には松本大学×さかえお菓子クラブ共同開発による「クラッカー」「グリッシーニ」「せんべい」が栄村物産館で販売される予定です。また、松本ではやまびこドームで6月29日、30日に開催されるabnワクワクデーにて学生が販売する予定です。

安全・安心な農産物や加工品を提供する松本大学学生による直売所をリニューアルオープン!

一築夢屋プロジェクト

6月24日(月)午後3時半、国道158号線下新交差点北の茶運堂さんの店先をお借りして松本大学学生による直売所がオープンします。地元の生産者が愛情込めてつくった

新鮮野菜・果物・加工品の販売を通して、地域の方々に安心・安全な食材を提供することを目的としています。

この活動は、昨年1年生がプロジェクトを組み、大学近くの「みすず屋雑貨店」をお借りして、地域の暖かいご支援をいただき7月から12月まで開店しました。



今年は新たに、くれきの野菜クラブの協力で畑を借りて自分たちで作った野菜や地元食材を使用したみそせんべいの販売、配達、お茶会を行い、地域の方々と交流していきます。

学生は、昨年度の反省を基に6ヶ月にわたる企画会議や地域との関係づくりを進めてきました。農業や商業のプロからの学びと活動実践を通して、経営や企画力・交渉力・チームワーク力を身につけています。

学生生活に役立つ松本大学学生による新入生のための情報紙“Volere!!”発行

一ゆめ通信編集委員会一



「Volere」とは、「～したい」という意味です。学生が、大学や地域への興味・関心を深め、「～したい」と思ってもらうきっかけとなる情報誌を、ゆめ通信編集員の学生が半年かけて制作しました。3月に第2号を発行し、新入生全員に配布しました。大学や学生、大学周辺の新村や松本市街地の情報を掲載しています。

「県外から来たので、この冊子で松本の情報を知ることができました」「お得なクーポンもあり、早速使いました」といった声は、制作学生の達成感と次号へのやる気につながりました。

地域の健康づくりを支援する 地域健康支援ステーション

管理栄養士スタッフ 石澤 美代子

地域健康支援ステーションでは、地域からの依頼を受けて健康づくりの支援やメニュー提案などを行っています。最近の活動を紹介します。

地域の活性化をめざして！ 松本山雅 FC スタジアム「食」の 提案を行っています

松本山雅FCからの依頼を受け、スタジアム「アルウィン」での飲食物（通称：スタめし）の提案を行っています。「スタめし提案」活動とは、希望する学生がプロジェクトチームを組み、アルウィンで販売している飲食業者へメニューを提案するというもの。今までに3回取り組み、計20品が実際に販売されています。その全てが、アルウィンで食べやすいもの、お客様に喜んでいただけるもの、そして地域が活性化することをコンセプトとし提案してきました。



今回はその4回目として、希望する学生が40名集まり（今までで最多です）、石原三妃専任講師（調理学分野）、成瀬祐子専任講師（給食管理分野）の指導のもと、アルウィンに実際に出演している業者（フードコンサルタント）蔵岡久男氏による講義を受け、現地視察、学生自身による考案・試作、2回の学内セレクションを経て、6月2日に業者9社に対し提案会を開催し29品のプレゼンテーションを行いました。その業



者さんは、事前に本学とのコラボレーションについてご賛同くださり、本活動が「教育的実践活動」であることを理解された上で、学生の育成の立場からもご尽力くださっています。提案会では「プロの目」で見てご指摘くださり、そのことが、学生たちに、机上の学習と現場の実践での相違点について深く学ぶ機会を提供し、また、場面に応じたメニュー考案の奥深さを実感する機会を与えてくださっています。



今後、メニューの採択されれば、再試作を経てアルウィンでのホームゲーム時に販売される商品となります。販売時には提案した学生本人も販売に協力する予定です。当ステーションのホームページ等でも情報発信していきますので、販売になった折には学生へ激励等お声掛けくださいますようお願いいたします。

現場に即した力！ お弁当メニューを考える 長野市篠ノ井「お寄り家びんず」 弁当提案活動

働く方たちにとって、デリバリーのお弁当は楽しみなもの。フタを開ける時のワクワク感は大人数になっても持っているものと思います。しかし、こうしたお弁当を作る立場となると大変なことが多いのです。①大量に作る、②作業工程を考える、③衛生的に作る、そして④栄養も考える。お弁当の献立を立てる時は配慮がたくさん必要になります。本学の健康栄養学科の学生は、学校や病院などの集団給食の現場に関連

して働くようになることが多く、その現場力が大いに求められています。

今回、長野市篠ノ井にある障がい者施設「お寄り家（およりや）びんず」で製造・販売しているお弁当のメニュー考案を行うことになり、給食管理分野の成瀬祐子専任講師を指導教員として活動を行っています。

今回考慮することは、上記①～④に加え、⑤障がい者が調理を行うこと。

実践力の高い4年生が主となって活動しています。作り方を書いたレシピはイラスト付きでわかりやすくし、また信州の特産品や、びんずで製造している大豆製品等を使ったメニューの場合は食育情報を掲載したカードをお弁当とともに届けていただき、食べていただいた方への食育活動も行っています。現在までに11メニューを提案し、すでに5メニューが実際のお弁当のおかずとして、地域の方たちに届けられています。

現在は、健康栄養学科2年生の授業「給食計画論」の題材としても取り組んでおり、給食管理を学び始めた2年生にとって現場を見据えた学習ができる、そんな活動となることを願っています。



学生が大学で学んだ事を地域の皆様へお返しできれば嬉しく思います。

皆さまのお近くで、学生や管理栄養士がお手伝いできることがありましたら、是非お声をかけてください♪

決算報告

去る5月30日に開催された理事会において、本学園の平成24年度決算が承認されました。

平成24年度は、松本大学が開学10周年、松本大学松商短期大学部が開学60周年を迎え、大学院・大学・短期大学部とも全ての学部・学科が定員を充足する中で、式典・講演会・公開講座などの周年記念事業を実施することができました。

今年度も募集定員を上回る入学生を迎え、応分の学費収入がございましたが、補助金については国の政策もあり、前年度より減少す

ることとなりました。また、外部からの委託研究や委託事業等の増加に伴い、事業収入が増加いたしました。その結果、帰属収入は、大学・短期大学部合わせて2,574百万円となっております。

これに対して支出は、教育研究経費について全国平均を上回る水準で支出を行いながらも、人件費・経常経費の効率的使用と金額抑制に努めた結果、今年度の消費収支は、大学・短期大学部ともに収入超過とすることができました。

設備関係では、大学・短期大学部とも文部科学省の競争的補助金

学校法人 松商学園	
財産目録	
平成25年 3月31日	
(単位 円)	
1. 資産総額	13,584,908,803
(1) 基本財産	10,855,925,699
(2) 運用財産	2,728,983,104
2. 負債総額	1,302,741,172
(1) 固定負債	350,695,595
(2) 流動負債	952,045,577
3. 正味財産	12,282,167,631

摘要	金額
資産の部	
基本財産	10,855,925,699
土地	419,825㎡ 2,467,692,651
松本市県3-6-1 校用地	44,135㎡ 251,718,847
松本市新村2095-1 校用地	62,454㎡ 1,668,074,944
松本市埋蔵2-1-1 校用地	11,135㎡ 525,156,268
松本市筑摩2丁目2952-3 宅地	202㎡ 839,536
松本市筑摩2丁目2952-10 宅地	969㎡ 4,020,676
松本市筑摩4丁目2438 原野	442㎡ 7,848,217
松本市寿白瀬2143 山林	6,641㎡ 964,163
松本市浅間温泉 山林	183,662㎡ 4,070,000
東筑摩郡筑北村乱橋花川原961 原野	110,184㎡ 5,000,000
建物	57,323㎡ 6,490,147,554
学校法人	474㎡ 12,032,048
松本大学	20,325㎡ 3,156,348,249
松本大学松商短期大学部	6,946㎡ 452,770,823
松商学園高等学校	20,967㎡ 1,663,636,422
松本秀峰中等教育学校	8,612㎡ 1,205,360,012
構築物	164件 629,628,150
図書	166,584冊 488,223,599
教育研究用機器備品	349,365,892
その他の機器備品	43,462,182
車輛	4
電話加入権	1,395,572
ソフトウェア	24,137,365
施設拡充引当特定預金	200,000,000
第3号基本金引当資産	161,872,730
運用財産	2,728,983,104
現金預金	2,427,639,507
退職給与引当特定資産	150,000,000
有価証券	6,488,630
出資金	210,000
基金拠出金	3,000,000
未収入金	140,344,967
敷金	1,300,000
資産総額	13,584,908,803

摘要	金額
負債の部	
固定負債	350,695,595
長期借入金	49,980,000
退職給与引当金	296,288,270
長期未払金	4,427,325
流動負債	952,045,577
短期借入金	16,660,000
未払金	183,886,093
前受金	691,950,000
預り金	59,549,484
負債総額	1,302,741,172
正味財産 (資産総額 - 負債総額)	12,282,167,631

貸借対照表
平成25年 3月31日

財産の部	(単位 円)		
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	11,016,924,329	11,208,214,278	△ 191,289,949
有形固定資産	10,468,520,032	10,714,759,771	△ 246,239,739
土地	2,467,692,651	2,467,692,651	0
建物	6,490,147,554	6,738,380,604	△ 248,233,050
構築物	629,628,150	630,204,340	△ 576,190
教育研究用機器備品	349,365,892	354,168,193	△ 4,802,301
その他の機器備品	43,462,182	46,875,455	△ 3,413,273
図書	488,223,599	477,438,524	10,785,075
車輛	4	4	0
その他の固定資産	548,404,297	493,454,507	54,949,790
電話加入権	1,395,572	1,395,572	0
ソフトウェア	24,137,365	19,506,305	4,631,060
有価証券	6,488,630	6,488,630	0
出資金	210,000	210,000	0
基金拠出金	3,000,000	3,000,000	0
退職給与引当特定資産	150,000,000	150,000,000	0
施設拡充引当特定預金	200,000,000	150,000,000	50,000,000
第3号基本金引当資産	161,872,730	160,252,000	1,620,730
片倉有英奨学資金	0	1,316,000	△ 1,316,000
敷金	1,300,000	1,286,000	14,000
流動資産	2,567,984,474	2,126,578,095	441,406,379
現金預金	2,427,639,507	2,050,544,608	377,094,899
未収入金	140,344,967	76,033,487	64,311,480
資産の部合計	13,584,908,803	13,334,792,373	250,116,430

負債の部	(単位 円)		
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	350,695,595	377,650,080	△ 26,954,485
長期借入金	49,980,000	66,640,000	△ 16,660,000
退職給与引当金	296,288,270	302,426,015	△ 6,137,745
長期未払金	4,427,325	8,584,065	△ 4,156,740
流動負債	952,045,577	900,528,609	51,516,968
短期借入金	16,660,000	16,660,000	0
未払金	183,886,093	142,089,640	41,796,453
前受金	691,950,000	690,585,000	1,365,000
預り金	59,549,484	51,193,969	8,355,515
負債の部合計	1,302,741,172	1,278,178,689	24,562,483

基本金の部	(単位 円)		
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	15,683,673,959	15,474,457,853	209,216,106
第3号基本金	161,872,730	160,252,000	1,620,730
第4号基本金	302,000,000	302,000,000	0
基本金の部合計	16,147,546,689	15,936,709,853	210,836,836

消費収支差額の部	(単位 円)		
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	3,865,379,058	3,880,096,169	△ 14,717,111
消費収支差額の部合計	△ 3,865,379,058	△ 3,880,096,169	14,717,111

科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	13,584,908,803	13,334,792,373	250,116,430

技能五輪への協力に長野県知事より感謝状

昨年10月26日から29日にかけて松本市と諏訪市を会場に開催された第50回技能五輪全国大会への協力に対し、本年3月22日に阿部長野県知事より感謝状が本学に贈られました。

この大会には当時観光ホスピタリティ学科2年生の齋藤由衣さんがフラワー装飾部門で出場し活躍しました。(蒼穹109号で紹介)

また、大会運営の中で、信州スカイパーク会場で来場者に対し、健康栄養学科の学生たちによる健康づくりのための栄養指導や、茶道部の学生による抹茶の振る舞いを行いました。

た。さらに地域づくり考房「ゆめ」では手話の講習会や松風連の太鼓演奏(太鼓は当日雨天のため中止)など様々な趣向で大会を盛り上げるサポートを行いました。

このような本学からの一連の協力に対して贈られたものです。(大学事務局長 小倉 宗彦)



銀座三越「味覚の冒険 ジビエ特集」に鹿肉料理を出店販売

6月12日から18日まで、東京の三越銀座店で開催された「味の冒険ジビエ特集」に、健康栄養学科矢内研究室が、有限会社本郷鶏肉と共同で出店し、鹿肉を使ったコロッケを販売しました。

このコロッケは学生が考案したもので、県内産の鹿肉、山形村産の長芋、衣には凍み豆腐を使い、地産地消や栄養面などを考慮して開発したものです。

また、本郷鶏肉からはロースト、コンフィ、ハンバーグ、山賊焼きなどを販売し、当研究室の卒業生で本郷鶏肉に就職した2期生の小宮山明日香さんが中心になって信州のジビエ工



理の魅力のアピールしました。

来店者からは「肉が全く臭くない」、「健康にいいお肉だとは知らなかった」などの声が聞けました。

今後も、鹿肉の消費拡大に向け、様々な鹿の調理法や加工品開発を行ってまいります。

(健康栄養学科専任講師 矢内 和博)

平成24年度の学業成績優秀者を表彰



4月11日、本学において平成24年度学業成績優秀者を表彰しました。総合経営学部、人間健康学部では、進級時に過年度の成績をもとに各学科の成績トップの学生を表彰し、奨励金として授業料10万円を減免(特待生は除く)しました。表彰者は次の通り。総合経営学部▽長谷川亮(4年)、百瀬貴文(3年)、林大輔(2年) 観光ホスピタリティ学科

▽柳澤秀幸(4年)、樋沢香里(3年)、上原愛(2年) 健康栄養学科▽岡村真実(4年)、柳澤有希(3年)、中村沙織(2年) スポーツ健康学科▽近藤壮太(4年)、北澤拓也(3年)、檀原美咲(2年)

また、短期大学部では、「トップ10」として、全体の成績上位10名を表彰し、授業料を減免(特待生を除く)しました。表彰者は次の通りで、いずれも2年生。商学科▽冢子汐里、井上絵里奈、佐々木由紀、嶋津あゆみ、平林麻衣、平林優実 経営情報学科▽岡村彩香、清水美希、武松英里、松本真季 (教務課長 丸山 勝弘)

盛況であった平成25年度の「卒友会」

「卒友会」は、本学において教員免許状を取得し、教育関係機関に勤務している卒業生の会です。新卒者の支援と卒業生相互の交流を目的として、2011(平成23)年に結成され、現在、会員数は44名に達しました。

第3回目を迎えた本年度の卒友会は、4月27日に「H. モンター ニュ松本」で開催されました。卒業生23名、在学生(4年生)1名、大学関係者8名、計32名と予想を上回る大勢の参加者がありました。

当日は、卒業生の自己紹介・近況報告などが行われ、新卒者

からは職場で感じている具体的な悩みや問題が出され、本学教員や先輩たちからアドバイスを受けました。その後の昼食会では、和やかに歓談しながら情報交換が行われ、盛況で有意義な会となりました。

(教職センター長 小林 輝行)



平成25年度松本大学後援会総会が開催される

6月1日松本大学において松本大学後援会総会が開催されました。小原茂会長と住吉廣行学長の挨拶の後、次の議案について審議し、承認されました。
第一号議案 平成24年度会務報告
第二号議案 平成24年度決算
第三号議案 平成25年度会務・予算
第四号議案 平成25年度役員選出

議事終了後、新旧会長の新任・退任の挨拶があり、北原俊新会長より顧問並びに幹事の委嘱がなされました。最後に、大学院研究科長、大学及び短期大学部の各学部長から学事報告があり、平成25年度の取り組みや近況について報告がされました。



引き続き、短期大学部の金子能准教授を講師に、「色を楽しむ」というテーマで講演会が開催されました。色による心理的効果やその特色を活用した商品の色使いについて、マーケティングの視点から分析し、聴衆は興味深く聴き入りました。

本年度は参加者も多く、盛会のうちの一連の行事は終了しました。

第8回大学生協総代会が開催される

5月28日に大学生協の年に一度の恒例行事である、「第8回大学生協総代会」が開催されました。総代会開催の主な目的は、①前年度の事業報告および決算関係の承認、②今年度の事業計画および予算決定、③今年度の生協役員選出の3つにあります。



昨今、非常に厳しい経営状況ですが、今年度は「単年度で赤字脱却を目指すこと」や「更なる利用者増を目指し、商品構成と数値改善をすすめる」等の報告と確認がなされました。また、今年度の役員人事も無事承認されました。

生協は、学生および教職員ひとりひとりが出資金(15,000円)を出し合い支え合って運営されている組織です。どうか、今後の生協運営を盛り上げて行くためにも、多大なご支援とご協力をよろしくお願いいたします。(松本大学生生活協同組合専務理事 白澤 聖樹)

硬式野球部

関甲新学生野球連盟

春季リーグ戦で2部優勝したものの、1部昇格は叶わず

硬式野球部は、関甲新学生野球連盟春季リーグ戦で2部に於て9勝1敗で優勝しました。

しかし、1部6位チームの作新学院大学との入れ替え戦に1勝2敗で、1部昇格は残念ながら叶いませんでした。

入れ替え戦1勝1敗で迎えた第3戦は、3対2でリードしていましたが9回2アウトからライトポール直撃のホームランを打たれ同点になり、延長の末敗れた、大変惜しい試合でした。

しかしながら、選手が大きく成長したシーズンでもありました。

1つには僅少差の試合を繰り返し、あきらめない気持ちが強く、それによりチームワークが試合ごとに高まっていくのを感じました。

2つ目には、入部もない1年生が活躍したことです。2名がレギュラーとなり、先発して勝ち星をあげた



三森奎右投手

投手や、代打の切り札など、彼らの活躍がなければここまで戦うことは出来ませんでした。

3つ目には、エースの三森奎右投手が長いイニングを投げ抜き、絶対的なエースに成長してくれたことです。

先の全日本大学野球選手権大会で優勝した日本一の上武大学と対戦するためにも秋には一部昇格を目指したいと思います。

(硬式野球部長 山根 宏文)

女子ソフトボール部

8年連続インカレ出場

5月18日・19日に石川県の野々市市にて、第19回北信越大学男子・女子ソフトボール選手権大会兼、文部科学大臣杯第48回全日本大学選手権大会北信越予選が行われました。本学女子ソフトボール部は、見事優勝を果たし、これにより8年連続のインカレ(全日本大学ソフトボール選手権大会)への出場が決定しました。



陸上競技部主な大会結果

春の主要2大会が終了しました。けが人が続出し、春先は思うような結果が残せませんでした。夏以降に向けて更なる精進をしていきたいと思います。

◆第53回長野県陸上競技春季大会

(4月26日・27日 / 松本平広域公園陸上競技場)

【男子3位以内】

■1位
・円盤投 中谷 俊貴(スポーツ健康学科4年) 36m68
・ハンマー投 富井 博輝(観光ホスピタリティ学科4年) 52m77

■2位

・800m 徳武 大起(スポーツ健康学科4年) 2分01秒62
・走幅跳 青沼 和紀(スポーツ健康学科1年) 7m02
・砲丸投 尾崎 雄介(観光ホスピタリティ学科2年) 11m86

■3位

・400mH 川西 翔太(スポーツ健康学科2年) 55秒17
・砲丸投 中谷 俊貴 11m71
・1600mR 川西 翔太・浦野 泰希(観光ホスピタリティ学科1年)、清水 泰志(観光ホスピタリティ学科1年)、池田健二郎(総合経営学科4年) 3分26秒59

【女子3位以内】

■3位

・400m 長村 紋(観光ホスピタリティ学科1年) 1分01秒08

◆第87回北信越学生陸上競技対校選手権大会

(5月18日・19日 / 新潟市岩倉陸上競技場)

【3位以内】

■2位

・男子円盤投 中谷 俊貴 38m03
・男子ハンマー投 富井 博輝 52m00

■3位

・男子走幅跳 青沼 和紀 7m22

◆第35回北日本学生陸上競技対校選手権大会

(6月15日・16日 / 札幌市円山公園陸上競技場)

■1位

・男子ハンマー投 富井 博輝 52m60

● 下記の出場が決定しました。 ●

◆2013日本学生陸上競技個人選手権大会

(6月21日~23日 / 神奈川県平塚市[shonan BMWスタジアム平塚])

■女子200m 瀧澤 祐未(スポーツ健康学科2年)

◆第82回日本学生陸上競技対校選手権大会

(9月6日~8日 / 東京国立競技場)

■男子ハンマー投 富井 博輝

■女子200m 瀧澤 祐未

■女子100mH 立花 千春(スポーツ健康学科4年)

注)Hはハードル、Rはリレーの略

リレー コラム

Relay Column

満たされないぐらいがちょうどいい?

総合経営学部准教授 矢崎 久

大学時代の恩師は模型飛行機を趣味としていた。模型といえば竹籤骨格の機体とゴム動力でプロペラを回すライトプレーン、あるいはラジコンなどを連想されるであろう。

だが師は、知る人ぞ知る、上空の気を読んで、エンジンや動翼を予め調整して発航、滞空時間の長さを競うフリーフライト機を好んでいた。

その師の部屋を訪ねる機会を得た私は、屋内のおびただしい数の機体や木片類を確認すると「なんでもあるようですね?」という軽口を叩いた。「それがね矢崎君、ウクライナ製がないんだよ。高性能なのに、なぜか縁がないんだ」と師は宣い、競技になると模倣市販品や自作機ではウクライナのものに歯が立たないと私に説明した。

卒業後、相当のご無沙汰を経たある日、師と再会した。趣味加熱を予想しつつ私は、「その後」を尋ねた。しかし「それがね矢崎君、あのあとウクライナのを幾つか手に入れ飛ばしてみた。確かによく飛んだよ。でも、その頃から熱が冷めちゃってね」と、懐かしい口調から予

想もしなかったその後が語られたのだ。さらに最近では作る、飛ばす、いずれもしていないのだという。

時同じ頃、先輩と居酒屋で杯を重ねる機会があった。彼は自宅、車、手許のいずれにも無線機があるような人物であった。彼によれば、頻回なる機材調整が煩わしくなり、最近、一揃えを高級なもの買い換えた。皮肉なことその頃から趣味熱が冷めてしまったのだという。

私の脳裏でこれに師の話が重なった。同時に、私にも心当たりがあった。昔々、お年玉で模型飛行機を買うのだが部品や工具が足りない。親にせがんでも勉強に関係ないものには金は出せんと取り付く島もない。で、その年は機体を買って作っておしまい。次はエンジンとプロペラ、そして次は操縦装置と、ほぼ毎日その次を夢想していた。わくわくしていた。数年がかりで完成して飛ばして数十秒で砕け散っても、悔しさよりなぜかわくわくした気持ちでいた。不思議である。社会人になり、欲しかったものを一気に揃えてみた。でもなにか違う、こころがわくわくしないのである。

編集後記

4月に広報委員長を拝命し、学報『蒼穹』の編集企画に携わることになりました。

学報『蒼穹』は、1984(昭和59)年3月、従来の学生新聞から公報的なものを分離独立させるかたちで創刊されました。爾来、澄み切った青空を思い起こさせる『蒼穹』という名称とともに、縦書きのスタイルが踏襲されてきましたが、「大学の今」を広く伝えるためのツールとして活用するため、本号から横書き、カラー印刷へと体裁を一新しました。

内容の充実も図り、巻頭特集を新設して地域の中核大学(COC)をめざして策定された「松本大学中期目標・計画」を取り上げたほか、地域の関係者からの寄稿も盛り込みました。今後も本学の特色ある取り組みをわかりやすく伝える広報誌になるよう努めてまいります。

(記・広報委員長 太田 勉)

2014年度 入試日程

■ 総合経営学部 (総合経営学科・観光ホスピタリティ学科/各学科 定員 80名・編入学 10名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		総合経営	観光ホスピタリティ					
推薦入学	推薦前期(指定校/公募)	30	30	本学	2013年 11月 1日(金) ~ 11月 8日(金)	11月 17日(日)	11月 21日(木)	12月 3日(火)
	推薦後期	5	5	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 7日(土)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
	自己推薦	5	5	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 7日(土)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
一般入学	AOI期	5	5	エントリー 面談 出願	2013年 8月 1日(木) ~ 8月 17日(土) 2013年 8月 29日(木) ~ 9月 4日(水) 2013年 9月 9日(月) ~ 9月 13日(金)	9月 21日(土)	9月 26日(木)	10月 4日(金)
	AOII期	5	5	エントリー 面談 出願	2013年 9月 26日(木) ~ 10月 5日(土) 2013年 10月 15日(火) ~ 10月 18日(金) 2013年 10月 28日(月) ~ 11月 1日(金)	11月 9日(土)	11月 21日(木)	12月 3日(火)
	一般A	15	15	本学・東京 名古屋・新潟 甲府・那覇	2014年 1月 14日(火) ~ 1月 24日(金)	2月 1日(土)	2月 10日(月)	2月 20日(木)
	一般B	3	3	本学	2014年 2月 3日(月) ~ 2月 18日(火)	2月 22日(土)	2月 27日(木)	3月 11日(火)
	一般C	2	2	本学	2014年 2月 24日(月) ~ 3月 10日(月)	3月 14日(金)	3月 17日(月)	3月 28日(金)
	センター利用I期	6	6		2014年 1月 14日(火) ~ 1月 31日(金)	2月 10日(月)	2月 20日(木)	2月 24日(火)
	センター利用II期	2	2		2014年 2月 3日(月) ~ 2月 20日(木)	2月 27日(木)	3月 11日(火)	3月 28日(金)
	センター利用III期	2	2		2014年 2月 24日(月) ~ 3月 12日(水)	3月 17日(月)	3月 28日(金)	
	留学生前期	若干	若干	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 7日(土)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
	留学生後期	若干	若干	本学	2014年 2月 3日(月) ~ 2月 18日(火)	2月 22日(土)	2月 27日(木)	3月 11日(火)
編入学	編入学I期	4	4	本学	2013年 9月 2日(月) ~ 9月 13日(金)	9月 21日(土)	9月 26日(木)	10月 4日(金)
	編入学II期	4	4	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 7日(土)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
	編入学III期	2	2	本学	2014年 2月 3日(月) ~ 2月 18日(火)	2月 22日(土)	2月 27日(木)	3月 11日(火)

■ 人間健康学部 (健康栄養学科・スポーツ健康学科/各学科 定員 80名・編入学 健康栄養学科 5名・スポーツ健康学科 10名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		健康栄養	スポーツ健康					
推薦入学	推薦前期(指定校/公募)	30	32	本学	2013年 11月 1日(金) ~ 11月 8日(金)	11月 16日(土)	11月 21日(木)	12月 3日(火)
	推薦後期	3	3	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 8日(日)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
一般入学	AO(健康栄養学科)	5	-	エントリー 模擬授業 出願	2013年 9月 26日(木) ~ 10月 5日(土) 2013年 10月 12日(土) 2013年 10月 28日(月) ~ 11月 1日(金)	11月 9日(土)	11月 21日(木)	12月 3日(火)
	AOI(スポーツ健康学科)	-	10	エントリー 模擬授業 出願	2013年 8月 1日(木) ~ 8月 17日(土) 2013年 8月 23日(金) 2013年 9月 9日(月) ~ 9月 13日(金)	9月 21日(土)	9月 26日(木)	10月 4日(金)
	AOII(スポーツ健康学科)	-	5	エントリー 模擬授業 出願	2013年 9月 26日(木) ~ 10月 5日(土) 2013年 10月 12日(土) 2013年 10月 28日(月) ~ 11月 1日(金)	11月 9日(土)	11月 21日(木)	12月 3日(火)
	一般A	20	15	本学・東京 名古屋・新潟 甲府・那覇	2014年 1月 14日(火) ~ 1月 24日(金)	2月 1日(土)	2月 10日(月)	2月 20日(木)
	一般B	3	3	本学	2014年 2月 3日(月) ~ 2月 18日(火)	2月 22日(土)	2月 27日(木)	3月 11日(火)
	一般C	3	2	本学	2014年 2月 24日(月) ~ 3月 10日(月)	3月 14日(金)	3月 17日(月)	3月 28日(金)
	センター利用I期	10	6		2014年 1月 14日(火) ~ 1月 31日(金)	2月 10日(月)	2月 20日(木)	2月 24日(火)
	センター利用II期	3	2		2014年 2月 3日(月) ~ 2月 20日(木)	2月 27日(木)	3月 11日(火)	3月 28日(金)
	センター利用III期	3	2		2014年 2月 24日(月) ~ 3月 12日(水)	3月 17日(月)	3月 28日(金)	
	その他	社会人AO(健康栄養学科)	若干	-	エントリー 模擬授業 出願	2013年 9月 26日(木) ~ 10月 5日(土) 2013年 10月 12日(土) 2013年 10月 28日(月) ~ 11月 1日(金)	11月 9日(土)	11月 21日(木)
社会人AOI期(スポーツ健康学科)		若干	-	エントリー 模擬授業 出願	2013年 8月 1日(木) ~ 8月 17日(土) 2013年 8月 23日(金) 2013年 9月 9日(月) ~ 9月 13日(金)	9月 21日(土)	9月 26日(木)	10月 4日(金)
社会人AOII期(スポーツ健康学科)		若干	-	エントリー 模擬授業 出願	2013年 9月 26日(木) ~ 10月 5日(土) 2013年 10月 12日(土) 2013年 10月 28日(月) ~ 11月 1日(金)	11月 9日(土)	11月 21日(木)	12月 3日(火)
留学生		若干	若干	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 8日(日)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
帰国生		若干	若干	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 8日(日)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
編入学	編入学I期	3	4	本学	2013年 9月 2日(月) ~ 9月 13日(金)	9月 21日(土)	9月 26日(木)	10月 4日(金)
	編入学II期	2	4	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 8日(日)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
	編入学III期	-	2	本学	2014年 2月 3日(月) ~ 2月 18日(火)	2月 22日(土)	2月 27日(木)	3月 11日(火)

■ 松本大学松商短期大学部 (商学科・経営情報学科/各学科 定員 100名)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		総合経営	観光ホスピタリティ					
推薦入学	特待生推薦	若干	若干	本学	2013年 10月 21日(月) ~ 10月 28日(月)	11月 2日(土)	11月 7日(木)	11月 19日(火)
	推薦前期(指定校/公募)	60	60	本学	2013年 11月 1日(金) ~ 11月 8日(金)	11月 17日(日)	11月 21日(木)	12月 3日(火)
	推薦後期	5	5	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 7日(土)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
	自己推薦	5	5	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 7日(土)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
	AOI期	5	5	エントリー 面談 出願	2013年 8月 1日(木) ~ 8月 17日(土) 2013年 8月 29日(木) ~ 9月 4日(水) 2013年 9月 9日(月) ~ 9月 13日(金)	9月 21日(土)	9月 26日(木)	10月 4日(金)
一般入学	AOII期	5	5	エントリー 面談 出願	2013年 9月 26日(木) ~ 10月 5日(土) 2013年 10月 15日(火) ~ 10月 18日(金) 2013年 10月 28日(月) ~ 11月 1日(金)	11月 9日(土)	11月 21日(木)	12月 3日(火)
	一般A	6	6	本学・東京 名古屋・新潟 甲府・那覇	2014年 1月 14日(火) ~ 1月 24日(金)	2月 1日(土)	2月 10日(月)	2月 20日(木)
	一般B	2	2	本学	2014年 2月 17日(月) ~ 3月 3日(月)	3月 7日(金)	3月 13日(木)	3月 25日(火)
	一般C	2	2	本学	2014年 3月 10日(月) ~ 3月 18日(火)	3月 20日(木)	3月 24日(月)	3月 28日(金)
	センター利用I期	6	6		2014年 1月 14日(火) ~ 1月 31日(金)	2月 10日(月)	2月 20日(木)	2月 24日(火)
	センター利用II期	2	2		2014年 2月 17日(月) ~ 3月 5日(水)	3月 13日(木)	3月 25日(火)	3月 28日(金)
	センター利用III期	2	2		2014年 3月 10日(月) ~ 3月 18日(火)	3月 18日(火)	3月 24日(月)	3月 28日(金)
	社会人AOI期	若干	若干	エントリー 面談 出願	2013年 8月 1日(木) ~ 8月 17日(土) 2013年 8月 29日(木) ~ 9月 4日(水) 2013年 9月 9日(月) ~ 9月 13日(金)	9月 21日(土)	9月 26日(木)	10月 4日(金)
	社会人AOII期	若干	若干	エントリー 面談 出願	2013年 9月 26日(木) ~ 10月 5日(土) 2013年 10月 15日(火) ~ 10月 18日(金) 2013年 10月 28日(月) ~ 11月 1日(金)	11月 9日(土)	11月 21日(木)	12月 3日(火)
	留学生前期	若干	若干	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 7日(土)	12月 12日(木)	12月 24日(火)
留学生後期	若干	若干	本学	2014年 2月 3日(月) ~ 2月 18日(火)	2月 22日(土)	2月 27日(木)	3月 11日(火)	
帰国生	若干	若干	本学	2013年 11月 25日(月) ~ 12月 2日(月)	12月 7日(土)	12月 12日(木)	12月 24日(火)	

■ 松本大学大学院健康科学研究科健康科学専攻 (一般・社会人共通)

	試験区分	募集人員		会場等	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
		総合経営	観光ホスピタリティ					
大学院	前期	3	3	本学	2013年 9月 2日(月) ~ 9月 13日(金)	9月 21日(土)	9月 26日(木)	10月 4日(金)
	後期	3	3	本学	2014年 1月 14日(火) ~ 1月 24日(金)	2月 2日(日)	2月 10日(月)	2月 20日(木)